

基本目標2 「育み・学び・思いやり」の質の高いまち

分野別政策6 生涯にわたる多様な学びの推進

施策 No. 15 生涯学習の推進

10年後のめざす姿 多様な学習機会が確保され、いくつになっても、誰もが学ぶことができ、多くの市民が充実した人生を送っており、学びの成果が地域課題の解決やまちづくりに活かされています。

| 住みよさ指標 | 当初 | 単位 | 実績値の推移 | | | | | 目標値 (H37) | 評価 | |
|-------------------------------|---------|----|--------|---------|---------|-----|-----|-----------|---------|---|
| | | | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | | | |
| 1 「各種講座や施設など生涯学習の環境」に関する市民満足度 | 15.4 | % | 目標値 | 15.7 | 16.1 | | | 17.0 | 18.5 | ↘ |
| | | | 実績値 | 10.1 | | | | | | |
| 2 「生涯学習情報提供システム」登録数 | 1,023 | 件 | 目標値 | 1,058 | 1,020 | | | 1,200 | 1,500 | ↘ |
| | | | 実績値 | 869 | | | | | | |
| 3 「市民大学くろまる塾」塾生数 | 1,310 | 人 | 目標値 | 1,348 | 1,380 | | | 1,500 | 1,700 | ○ |
| | | | 実績値 | 1,502 | | | | | | |
| 4 社会教育事業延べ参加者数 | 15,457 | 人 | 目標値 | 15,600 | 15,600 | | | 16,200 | 16,500 | ↘ |
| | | | 実績値 | 11,984 | | | | | | |
| 5 図書館利用者数 | 621,046 | 人 | 目標値 | 621,100 | 621,000 | | | 622,000 | 623,000 | ○ |
| | | | 実績値 | 665,973 | | | | | | |

| 総合評価 | 住みよさ指標の状況 |
|----------|---|
| C | 図書館の入館者数は減少したが、インターネット予約、公民館図書室での資料受け取り、ブックポスト返却などの非来館型利用の拡大により、図書館が提供するサービスの利用者は増加した。高野山大学や大阪南医療センターとの連携を行うなど、河内長野市民大学「くろまる塾」本部講座の拡充に努め、「市民大学くろまる塾」塾生数の増加につながった。 |

施策を構成する事業の状況

図書館事業(図書館入館者数474,323人、図書館外での講座・イベント参加者数10,909人、図書館ホームページからの予約申込件数107,388人)、図書館ネットワーク事業(公民館図書室入室者数69,058人、自動車文庫利用者数4,295人)。
 河内長野市文化振興財団を指定管理者とし、くろまる塾本部講座の実施や市民交流センターの維持管理に取組み、市民へ生涯学習の機会を提供した。また、内部各課や外部の講座を認定講座とし、併せて多様な学習機会を提供した。
 市内各小・中学校を支援する地域コーディネーターによる各種事業の実施。親学習をはじめとする各種講座の実施や、親力推進協議会との連携による家庭教育・子育て支援を推進した。

| | |
|--------------------|---|
| これまでの取組み | 第3次子ども読書活動推進計画の推進や課題解決型図書館としての役割を果たすため、資料整備、多様な展示や講座、イベントの実施、ICTを活用した情報の提供に取り組んだ。公益財団法人河内長野市文化振興財団が市民交流センターの指定管理者となり、市と協議しながら、新たな本部講座(教養講座や医療連携講座など)を企画する等くろまる塾の充実を進めた。また、公民館では社会教育推進のための事業を実施した。家庭教育・子育て支援を推進するため、親学習をはじめとする各種講座の実施や、平成26年度より発足した親力推進協議会との連携を進め、家庭教育・子育て支援を推進した。 |
| 課題(めざす姿との差) | 第3次子ども読書活動推進計画を着実に推進し、また課題解決型図書館に向けたサービスのさらなる充実を図る。生涯学習情報の提供及び学習機会の充実を図るとともに、第2次生涯学習推進計画(くろまる生涯学習プラン)の検証に取り組む必要がある。学校・地域連携の推進、及び家庭教育・子育て支援の充実を図るため、その機会のさらなる充実を図る。 |
| 今後の方向性 | 子どもの読書活動推進に関わる各課や団体等と連携を深め、資料集配送による団体貸出を促進するとともに、ICTを活用した情報の入手や発信など非来館型サービスを充実させる。生涯学習情報の集約・発信の充実と、そのこと自体のPRに努めていく。また、第2次生涯学習推進計画(くろまる生涯学習プラン)のこれまでの実施内容の検証を行う。学校・地域の連携を推進するため、その人材発掘等を行い、また、家庭教育・子育て支援の充実のため、親力推進協議会と連携・協力をしながら、地域における家庭教育支援の取り組みをサポートする。 |